

宮内・十日町地区

(新潟県長岡市)

- 計画期間 平成18年度～平成22年度
- 面積 960ha
- 交付対象事業費 229百万円
- 市人口 267,642人(地区内人口9,387人)

ポイント 災害に強くうるおいのあるまちづくり

地区概要 平成16年に発生した「7.13梅雨前線豪雨」と「新潟県中越地震」により甚大な被害を受けた。この時、道路の寸断による集落孤立、避難所が機能しないこと、住民の防災意識が薄いことなどの要因が、更に被害を大きくさせた。

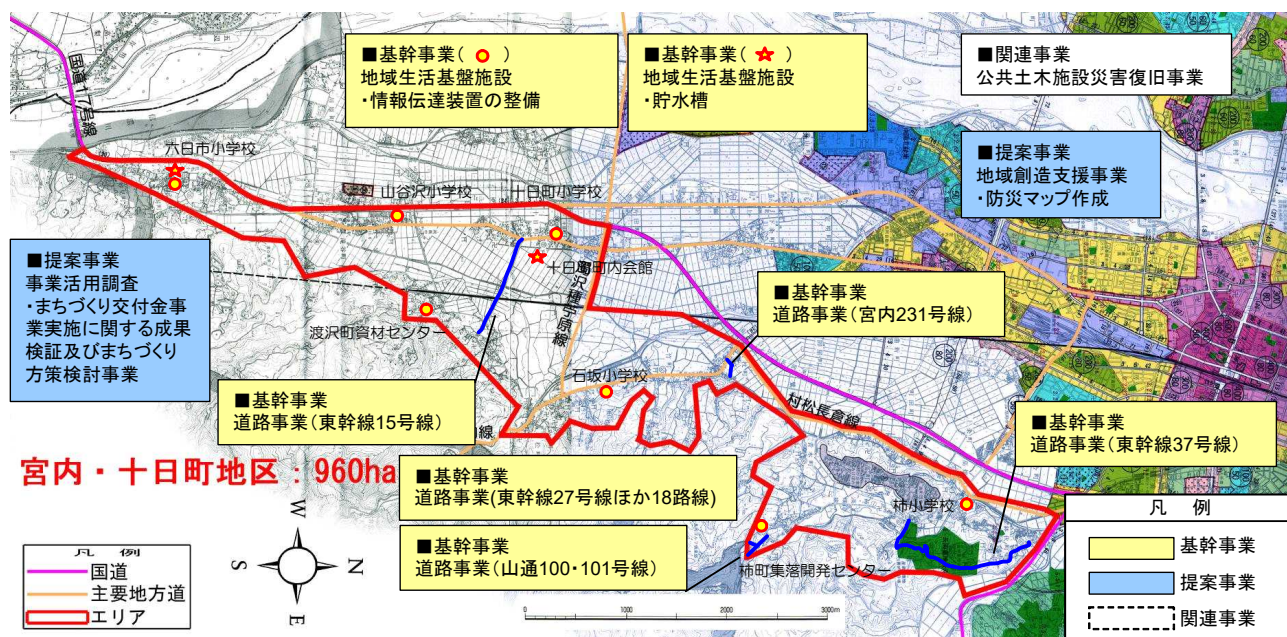
目標 避難路を整備するとともに、地区住民の防災意識向上と災害発生時の施策拡充を図る。

指標

危険箇所整備率(%)	60%	(H18)	→	100%	(H23)
自主防災組織の会議開催回数(回/年)	1回/年	(H18)	→	3回/年	(H23)

事業内容

- 基幹事業(224百万円) → 道路(幅員4~6m、延長4,275m)、耐震性貯水槽2箇所、情報伝達施設7箇所
- 提案事業(5百万円) → 地域防災マップの作成及び情報伝達コンテンツ提供マニュアル作成
まちづくり交付金事業実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討業務委託



地区の現況と課題

- 道路網の強化が必要である。
- 農村集落の防災性向上を併せた活性化が必要である。
- 地区住民自らの防災意識を高め、災害発生時の連絡・支援体制の確立等防災面でのソフト施策の拡充が必要である。

提案事業の特徴

- 地域防災マップ及び情報伝達コンテンツ提供マニュアル作成業務
住民の防災意識の醸成に向け、住民の手による地域防災マップづくりの支援を行い、地域の特性に見合った防災まちづくりに結びつける。また、災害情報の提供を、発災前、発災後、避難までの一連の流れを想定し、有効なコンテンツを検証する。
- まちづくり交付金事業実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討業務委託
都市再生整備計画の目標の達成状況等について確認を行うとともに、今後のまちづくりの方策について検討を行う。

計画策定プロセス

水害・地震後においては、国の災害査定が入り、査定結果に基づいて災害復旧事業が行われるが、国の補助金に満たない被災箇所も多数存在した。当初は市の単独事業にて対応する予定だったが、まちづくり交付金により道路修繕でも国の支援が得られることから、同交付金で実施することにしたものである。

道路修繕だけでなく、地区として災害に強いまちづくりを目指すため、関係各課と協議し本計画を定めるに至った。



▲十日町小FM拡声器



▲十日町小FM拡声器BOX



▲十日町小FM拡声器非常用マイク